

FRIENDS

 **The Friendship Force of Saitama** 会報 第59号 (2004)

楽しい思い出胸に 19 名無事帰国

若者もみんなで楽しんだ交流

ED 沼 純子

今回の交換は春休みだったこともあって、高校生、大学生の皆さんにも参加してもらえた意義は大きいと思います。参加者 19 名のうち、FF のホームステイが初めての人が 9 名、そのうち 3 名が海外旅行は初めてでした。私も Exchange Director は初めてでしたし、多少の不安を抱えての出発でしたが、無事終了した今、老若男女みんな楽しく過ごせたことを本当にうれしく思っています。良い Exchange が出来たのも、参加された皆様のご協力のお蔭と感謝しております。

多彩な現地プログラム

先方の ED やホストファミリー(デイ・ホスト)も、年令構成のさまざまな私たちのために、いろいろ心をくだいて準備して下さいました。市長訪問では、フレンドシップ・フォースの活動を高く評価して下さいている市長さんの歓待を受けました。若くてハンサムな市長さんはモテモテで、次々と頼まれては記念撮影に収まっておられました。

野生動物園などでオーストラリア特有の動物や鳥類を間近に眺めたり、抱いたり、えさをあげたりも貴重な体験でした。カンガルー、エミュー、クロコダイルなどの珍味を味わうこともできました。

マレー川クルーズはまさに観光のハイライトでしたし、何回か開かれた Potluck Party と Farewell Party はたいへん盛り上がり、60、70 才も若者と一緒に歌い踊り、時間の経つのを忘れるほどでした。

Free Day には、若い人たちは、ダンス・パーティーや映画に連れていってもらったりし、大人も小学校見学やシニアの集いに参加するなど、それぞれに現地の人々の生活に触れる機会を作っていただきました。

自由で、暖かく支えあう人々

今回のホームステイで出会ったオーストラリアの人々は親しみやすく、飾り気のない方たちばかりでした。ゲイのカップルあり、結婚していない中高年のカップルもけっこう多いようです。93 才のおしゃれでチャーミングな ED のお母さん。そのお母さんを、多忙の中、毎日訪ねて、ちょっとしたお世話を欠かさぬ ED のグレニス。グレニスをしっかり支えるよきパートナーのユー

ジン。オーストラリアで、たくさんの素敵な人たちを知りました。

ゆったりと、でも前向きに人生を楽



Gawler 市長を訪問したアンバサダーとホスト

しんでいる人々。

遠来の客のために、心を込めてもてなしてくださった優しい人々。本当にありがとうございました。



思い出いろいろ

さいたま市 沼 禎昭

私にとって初めてのフレンドシップ・フォース交流の旅でしたが、通常の観光ツアーでは味わえない多くの貴重な体験をしました。カーター元米国大統領の提唱で始まったとのことですが、このような交流を通じてみんなが他の国のことや、他の国の人たちのことを知れば、世界はより平和に向かうに違いないと、戦前・戦中の閉鎖的な日本を経験した世代として痛感しました。

ソールズベリーの皆さんの暖かくて行き届いたもてなしに感動しましたが、私たちが泊めて頂いた先方リーダーのグレニスさんと友人のユージンさんが、毎日遅くまでスケジュールをこなすための準備をしている姿を拝見し、頭の下がる思いでした。

連日抜けるような青空、燦々と輝く太陽、広大な平原、白い砂のビーチなど、広くて豊かな土地であることを実感しましたが、反面水不足や塩害の悩みがあることを聞かされ、このような豊かな土地でも悩みのあることを初めて知りました。

今回の交流で一番驚き感銘を受けたのは、93才になられたグレニスさんのお母さんのリングダさんにお会いしたことです。右手や言葉が少し不自由で、パーキンソン病も患っておられるのに、一人でソールズベリーの一軒家に住んでおられ、お訪ねするたびに異なるきれいな服を着て美しく化粧をされ、にこやかな笑顔で私たちを抱擁とキスで迎えて頂き、その度に元気を頂戴する思いでした。フェアウエルパーティーにも出席され、しっかりと食事もとられるのを見て、その積極的な生き方を学ばなければならぬと痛感しました。そのお母さんを娘のグレニスさんや息子さんたちがしっかり支えておられるのにも感心させられました。

南十字星や天の川をはじめ、空いっぱい輝くオーストラリアの美しい星空が印象的で忘れられません。

さいたま市 細瀬 眞砂子

二度目のオーストラリアへの渡航でしたが、改めて環境保護と水の大切さを考えさせられる旅でもありました。

数回あった、和やかな雰囲気のパトックパーティー、そしてフェアウエルパーティーでの沼さんの手品には、全員が拍手喝采、楽しさを盛り上げていただきとてもよい思い出になりました。

元農夫だった私のホストは、日本食への関心も高く、プレゼントより日本食が食べたいとのメールがあり、最後のファミリーパーティーに盛り込んだお寿司作りには、皆が参加してくれ、それぞれ楽しんでくれました。やさしさ満点のホストは、今頃愛妻のために習い

たてのお寿司作りに励んでいるのではないのでしょうか。

E Dの方、お二人のやさしい思いやりも印象に残る楽しい交流でした。

蓮田市 仲澤 幸子

出迎えてくださったホストの中に、手紙に添えられた写真そのままの笑顔のジョアンとヴィックを見つけたときから、私の初めてのホームステイが始まりました。

しっかり者の奥様と陽気なご主人様のととても素敵な初老のご夫妻でした。車で10分という所にて二人のお嬢様(30~40才代)が住んでいて、共に良いご家庭をお持ちでした。下のお嬢様の息子さん(16才)のお誕生日に呼んでいただき、ケーキをご馳走になりました。その妹さん(10才)は、日本語を勉強しているとのことで「ワタシハ、オリビアデス」と、はにかみながらの挨拶はとてもかわいかったです。

上のお嬢様は、私たちに会いに家族連れでこちらの家まで来てくれました。それぞれのご主人様もとてもフレンドリーで、理想的な家族像を見た気がしました。

ジョアンは色々な趣味を持っていて、ペーパークラフトを教えてくださいました。私が作ってみたいと言うと、工具、材料の店にも連れて行ってきて、セットを買うことが出来たのでこれから作るのが楽しみです。

ヴィックの運転で、アデレード、グレネルグビーチ、トイファクトリーなど、案内して頂いた所は数え切れません。

日常の雑事を離れて、夢の国に行ってきたようなとても楽しい10日間でした。主人がリタイアしたら、今度は是非ホストをして、日本を案内したいと思いません。ソールズベリーの皆様、アンパサダーの皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

春日部市 坂本 登喜子

二度目の渡航ということと、これといったアクシデントもなく旅を楽しめたことは、あちら風に言えばラブラーでビューティフルな旅になりました。

折からの鳥インフルエンザの影響で英語の診断書を頂くのが出発の2日前でハラハラしましたが、よい経験になりました。

あこがれて出かけてみれば、どこの国も悩みがあり、広い大地に延々と続く水の管、水が切実な問題でした。どこの家庭も雨水を溜めるタンクが備え付けてあり、私たちもトイレとシャワーの水に神経を使いました。

電気代も高いようで、無神経に使っていた日本での生活を見直すよいチャンスになりました。

7泊という短いステイでしたが、料理を習い、手芸や



思い出いろいろ



絵を描く時間もあり、充実した毎日でした。夜毎感動して見上げた空は、帯のような天の川と大きく輝く星が降るようで、これだけでもここに來られて良かったと思っております。

それから着物に対する関心は皆さん同じで「素材は何か?」「胴に巻いたこれは何か?」と、同じことを聞かれました。ホストマザーも初めての着物を着て、喜々としておりました。

さいたま市 児島 英子

初めて訪れたオーストラリアでの一週間。59才と58才のホストに迎えられ、車で家に…。運転している彼を見ると、彼の左手は不自由でした。でも毎日食後のお皿を洗い、私たちが手伝いを申し出ても、これは自分の仕事だからと笑顔で断られてしまいました。そして彼はお皿を拭き、奥様はソファで新聞を読んでいる姿は、日本とはまるで逆の光景でした。

今回私たちは、ホストのお孫さんの通う小学校を訪れました。教室に入り生の授業を見ることが出来ました。先生を囲んで子供たちは床に座り、リラックスした授業風景にまたまた日本との違いを感じました。

私たち二人は別な町でのステイだったので、初めての計画とは別な行動が何回かありました。一週間の間に3回のポトラックとFarewell Party、ホストをレストランに招きDinner、そして天ぷらを作り日本食の体験。忙しい日々の毎日でしたが、ポトラックパーティーが何回もあることにより多くの方々と交流することができました。

夜空の星の美しさに感動し、オーストラリア独特の発音に惑わせられながら、辞書片手の楽しい一週間でした。

蓮田市 竹内 和歌子

ホストファミリーにお会いするまでは少々不安でしたが、すぐにその人柄に惹かれました。日本には数回来ており、日本大好きのご夫妻でした。優しくもしっかりしたジョアン。お茶目でジョーク好きのピクター。70才を過ぎているのにとっても元気で、活力にあふれていました。大変暖かく親切にして頂きました。

離れて住む二人の娘さんの家族にもお会いすることが出来ました。孫のトーマスの17才の誕生日ではケーキを囲んでハッピーバースデーを歌いました。10才の

オリビアの可愛らしいこと、日本語の勉強をしていて文字をどうやって習っているのか教えてくれました。親子、孫との関わりがよく分かり、大変楽しく過ごしました。

マザーは、ハンドクラフトが趣味で教えていただきました。また、日本でもやってみようと思います。帰国前夜には、エレクトーンをさりげなく弾いてくれました。それを聞きながら帰国の荷造りをしていました。少し感傷的になりました。ホームステイの良さ、ありがたさを味わう旅でした。また、FFのすばらしさがよく分かる旅でもありました。

蓮田市 田中 ヨシ子

初めてのFF参加、心配していましたが何とか無事過ごすことができ、ほっとしているところです。

ホストファミリーのテッドはとても優しく、ローラ

はキチッとした性格で、我々の滞在時間を無駄なく過ごすようにスケジュールを組んで待っていてくれたように感じました。連日の観光、ポトラックパーティーと、楽しい毎日があつという間に過ぎてしまいました。帰国の日まで残り少ない時間ではあったのですが、パロッサバレーのワイナリー、これぞオーストラリアと感激するほど180度くらい展望できる公園に連れて行ってもらいました。ホストは私たちより年上にも関わらず、疲れも見せず心からの歓待で、感謝、感謝です。ホストの大変さが十分伝わりました。自分にこれだけの事が出



来るのだろうか?

これに応えるべく努力するつもりです。ソールズベリーFFありがとうございました。

川口市 平井 義明

埼玉クラブではオーストラリアとの交換訪問が3回目ですが、私は初めての経験でした。3回訪問する理由は理解できました。ホスト・気候(快晴続き)・環境と三拍子揃って最高。

また、埼玉クラブの皆様も揃って協力していただき楽しく過ごせたことは良い思い出でした。若い人が参加され、私のような高齢者にも楽しく接していただき、



思い出いろいろ



年齢差を忘れる会話には、若い人にも感謝しました。私たちのホストの冗談好きには、私たちもつい冗談でお返し、笑い声が続く毎晩でした。ホストのご近所の方々の家にまで遊びに行き、一週間が夢のように過ぎてしまいました。ホストの別れる際の言葉に、私の名を呼び必ず帰って来るようにと、話された時には感動しました。埼玉クラブの皆様にもお世話になり、ありがとうございました。

川口市 平井 正子

シドニーからアデレードへの飛行中、夫の体調が悪くなり、ドキッ！ その後の一時間が何と長く感じたことか。アデレードに着く頃にはやや落ち着いたものの、無事に帰宅できるかの不安を抱えてのスタートとなりました。

ソールズベリーの方々は色々と趣味を持っておられます。百年前と現代の対比の写真(同一場所)コイン、絵葉書、切手、スプーンのコレクション等。女性は手芸、ニット編み、文化刺繍、クロスステッチ等。

私のホストが見せてくれたP.C.のプレゼントカードはとても繊細で美しい夢のあるものでした。私はすっかり魅了され、自ら挑戦したくなり教えていただくことにしました。始めてみるとこれが大変、細かいテクニックと言葉の通じない苦しさの中で手ほどきを受けること3時間、素敵なしおりを完成することができました。その翌日も次々と基本の技法を教えられて作品は4点に。ゼロからのスタートだっただけに私にとってはすばらしい自分へのプレゼントになりました。帰国してからも出来るようにと、手順書を作ってくれ、材料も分けてくださり、道具は(日本語の説明が欲しいので)日本で探すことにしました。クリスマスには、カードを作って送ることを約束し、宿題を持ち帰った次第です。

武蔵野市 岡田一夫

交換し合っていた写真のお蔭で、出迎えの場所でまだバスの中の我々2人に、にこやかに手を振って合図してくれたのがホストのジョン、パメラ(通称パム)夫妻。二人共とても気さくで話し好き、家に向かう車中でもポンポン話し掛けられて戸惑うくらいでした。

家に着くや昼食が充分でなかったのではとの配慮から、早速料理の上手なジョンがサラダを添えたチキンとサーモンをサーブしてくれたのには、感激しました。

朝食はジョンがトーストにオレンジジュース、コーヒー、フルーツはロックメロンに西瓜、それに加えてこちらがイエス・プリーズと答えるとベーコン添えの目玉焼きを提供してくれる毎日で、テーブルの準備が

終わるとパムを寝室に呼びに行き、そこで彼女がにこやかに登場するというパターンでその日が始まるのでそのほか、いつも家にいるのが愛猫のシェリー、尻尾の長いおとなしい上品なメス。

近くに住んでいて、今年5月には結婚予定の次男のスティーヴが、時々栄養補給にやって来ると、冷蔵庫を開けて色々面倒を見るのも父親の役目で、見ていてほほえましい光景でした。

フリーデイは、野沢さん・お嬢さん、本間さん、田中さん、細淵さんなどとハードロフと呼ばれるジャーマンビレッジを訪ねたり、パロッサ地方のワイナリー数ヶ所でテイastingを楽しんだり、アデレードの中華街やセンターマーケットを見学したりしているうちに、アツという間に過ぎた一週間でした。

私にとってはサンシャインコーストについて2度目のオーストラリアの人たちとの交流でしたが、彼等の底知れぬフレンドリーな気質は何処からやってくるものなのでしょうか。

交換を終えて更にシドニークラブのブルース、パット夫妻の家に6泊しました。8年前の交換の際にデイホストを家内が引き受け、私は2度目の来日の際に初めて会っただけなのに、まるで10年の知己のような、大きな歓待を受けて帰国しました。まさにフレンドシップ・フォースの真髄を感じました。

武蔵野市 岡田久仁子

一週間は早いものですね。今回も素敵な家族に迎えられる、楽しく実りある交換が出来ました。ホストの家族構成は、子供たちは皆独立し、夫婦2人暮らしですが、そのまわりには祖母、子供たちと鎖のように繋がれているように感じました。

ホストのパメラのお母様は95才です。車椅子の生活ですが、ケアハウスで残り少ない人生を楽しんでいました。私たちが訪問すると、笑顔で迎えてくださいました。若かりし英国時代の思い出話、そしてそこにピアノがあるかのように指を動かしてピアノを弾いてくださいました。とても感動いたしました。95才でも人を感動させるエネルギー、きっとすばらしい人生を送られてきた方と思いました。

現在私は、母と夫の叔母、2人の老人の面倒を看ております。この2人にも、ホストのお母様のように、自分自身に感動し、また、皆に感動を与える人生を送れる手助けが多少なりとも出来ればと考えました。





思い出いろいろ



新座市 長谷川 朝子

「今晚、ゲイのお宅に伺うけど朝子は大丈夫？」と、EDのグレニスに聞かれた。「大丈夫！」男の人二人で暮らしているって、いったいどんな人なんだらう...、少々楽しみな気分になった。夕方、ちょっとおしゃべりをしたホストのカイ&ジョンと三人で出かける。ちょうど門の所で、グレニス&ユージン、沼さんご夫妻と一緒にあった。

玄関には赤と黒の鼻緒の草履がさりげなく置かれ、リビングには日本人形が飾られている。ダイニングに通され、さっそく皆でカンパイ！豆のスープ、カンガルーのミートステーキ、ほうれん草の卵とじ、手焼きのケーキ...、ポリュームいっぱいのお食事を作って待っていてくださった。

食事の後は、書道具や着物など日本の文化が用意され、着物を着たり写真を撮ったり大騒ぎ。ちあきなおみの「かっさい」がかけ、皆に促され、汗を拭き拭き歌った。その後ピアノの置いてある書斎へ。机の上には赤い布で縁取りされた美しいマット、本棚にはたくさんの書籍がきちんと整理され並んでいる。グレニスが上手にピアノを弾き、ヒューゴがすばらしい独唱を聴かせてくれた。いつの間にか輪になり、肩を組んで歌ったり踊ったり、まるで皆の心がひとつになったような素敵な素敵な時間を過ごした。

穏やかでやさしいヒューゴ、ユーモラスで楽しいフィリップ。もう二十年も一緒に暮らしているという。心を込めておもてなしをしてくれる彼らのスマートさ、フレンドシップ精神、日々を楽しく自分らしく生きていこうとするポリシーを感じ、素敵な大人の人生に思いを馳せた。帰り際、案内してくれた庭に、寄り添って置かれた二つのパイプ椅子が、妙にセクシーだった。IT NICE TO SEE YOU TODAY.

さいたま市 稲垣 洋子

フリーマン家のパトックパーティーでの事でした。私たちのテーブルについた 10 名ほどの両クラブ会員は、初めあいさつ程度の英語の会話を交わしていたのですが、強い訛りのスピードある英語についてゆけず、日本語と英語とバラバラにおしゃべりを始めました。私も何とか皆で会話を楽しむにはどうしたらいいか考えていたのですが、名案も浮かばず黙々と食事を終えました。と、その時です。フィリップが大きなダンボールを抱えて入ってきたかと思うと（図書館から借りてきたそうです）中から書道の道具一式、着物、帯など、和服数着を次々に取り出し、「どうやって使うの？」と質問してきました。さあ、それからは大いに

盛り上がりました。見事な筆さばきで紙に名前を書いてあげる人それぞれ手にした浴衣や街着を説明しながら着て見せる人、記念写真とカメラに囲まれる人たち、驚きの言葉や笑い声があふれました。次に私たちが相手方会員に着せてあげる番です。身体が大きすぎて前がはだけてしまったり、丈がチンチクリンだったり、「オー！スモウレスラーみたい」、「きれい、きれい、良く似合う」と、皆、大喜びでした。こうして熱い興奮につつまれ、南十字星の輝く夜は過ぎていきました。

いま、ステイ中を思い出して、大変楽しい経験もいっぱいありましたがパーティーなど大きな集まりでは、言葉だけに頼るコミュニケーションは難しいと、つくづく感じました。私たちには長い間培ってきたすばらしい文化があります。これを具体的に体験してもらうことを考えてはどうでしょう。和服、書道、華道、武道等々。これらの道具の一部でも前もって先方に送り、披露して積極的に皆で楽しむことが出来たら、もっと有意義な交流になるのではないのでしょうか。

アンバサダーとして初めて参加した印象でした。



板橋区 阿部まなみ

初海外でした。毎日驚きの連続で大変だった。見るものすべて初体験で忙しかった。

一番楽しかったのは、私のホストファミリーの家でやったボトックパーティーでのダンス&ビリヤードです。プレスリーを聴きながら、ワインを飲みながら、少し前の映画の中にいるようで、なんとも言えないhappyな気分になった。

自然の豊かさはもちろんだけど、人との出会いに感動した。短期間だったから、そんなに多くの人とは話せなかったけど、いろいろな経験、価値観に触れられて、すごく得した気分。また訪ねたいと思う。



思い出いろいろ



さいたま市 野澤 明子

連れ合いを失くし、一人暮らしの79才のBill、69才のOlwyn、Burny、娘のhostのJudith、私のhostのJoyce。

明るくておしゃべり好きで元気いっぱい5人の結束力のすばらしさ。会えば止まることのないおしゃべりと笑いに、たっぷりと老人パワー？ Old Powerをもらって、「年をとるのもいいな！」そんな思いをさせてくれたステイでもありました。

さいたま市 野澤 香織

ホームステイは以前にも経験したことはあるが、やはりそんなことは関係なく、最初の2～3日までは緊張で少し疲れた感じがありました。

しかし、だんだん慣れてきて楽しめるようになったのでよかったです。いろいろな所に連れて行ってもらい、けれどそんなに忙しくなく、ゆったりとした時間を過ごせてとても楽しかったです。特にボトラックパーティーで色々な家に行ってさまざまな料理を食べたり、習字をしたり、ダンスもしたりと、本当にたくさんの事を経験できて楽しかったです。

さいたま市 本間 美幸

初めてホームステイに参加しました。不安がたくさんあったけど、皆、親切にしてくれて、すごく楽しい思い出がいっぱいできました。とてもよい経験ができてよかったです。

さいたま市 村田 佳代子

今回のオーストラリア渡航は、FFに加入し初めての交流のため不安でしたが、楽しく交流することができました。

オーストラリア独特のオージーイングリッシュはとても難しく、聞き取るのに苦労しました。私の英語も未熟なため、伝えたいことが伝わらないということがたくさんありました。しかし、身振り手振りにジェスチャーを加え、筆談や辞書を使って一生懸命伝えようとしたら、相手に理解していただくことができ、とてもうれしかったです。オーストラリアの方々と楽しく交流することができました。

緊張している私にジョークを言って緊張を解きほぐしてくれたり、一緒に海や学校に行ったり、日本の歌舞伎やオーストラリアのアボリジニーについて話したりと、親睦を深めることができました。

そしてルームメイトの阿部まなみさんとは仲良しになることができました。オージーイングリッシュが分からなかった時や、生活で困った時、具合が悪かった

時など言葉や文化の違う生活の中で、お互いが助け合い、協力し、よりよい関係を築けたと思います。

このオーストラリア渡航をきっかけに、これからもさまざまな交流に参加し、阿部まなみさんや埼玉クラブの方々、世界50数カ国の異国の人々と交流し、友情を深めていきたいと思います。



さいたま市国際友好フェア

5月3日・4日

さいたま市国際友好フェアが5月3日・4日に開催されます。昨年同様多くの皆様のご協力を得て今年もバザーの成功を収めたいと思います。家庭に眠っている物品のご提供をぜひお願いいたします。

担当の係が皆さんに電話で連絡をすることになっております。どうぞよろしくお願いいたします。

当日会場にてお手伝いが可能の方は、担当係までご連絡くださいますようお願いいたします。

また、お手伝いはできなくても、ご都合のつく方はぜひ、お出かけ下さい。

(時間は10:00～16:00です)

連絡担当(敬称略)

堀内	= 全体把握
平井・綿部	= 宇田・荻谷・鯨井・渡辺弘・沼尻
沼	= 小林・細淵・岡田・阿部・稲垣
佐藤	= 近藤・橋本・長谷川・原田・三戸・市川
野澤	= 角田・増倉・本間・村田・日下田
細矢	= 須藤・増田・新田・浜・神尾
青笹	= 青柳・今井・小高・星子・牧野内
岸田	= 川口・鈴木・竹内・田中・仲澤・渡辺妙
児島	= 坂本・新井・砂川

英会話レッスン

Keyword 2.

do

doには大きく分けて2つの使い方があります。

「～する」という意味の普通の動詞として

I do yoga every morning .

(毎朝ヨガをします)

助動詞として疑問文や否定文を作る

Do you drive? (車を運転しますか?)

I don't have a name card.

(名刺を持っていません)

今回は do の助動詞としての使い方です。疑問文で用いる助動詞では do がダントツで使われています。

主語が he/she/it の場合は does に形が変わるので注意しましょう。

練習

1. Do you drive?

あなたは車を運転しますか?

2. No, I don't, because I don't have a driver's license.

いいえ。だって免許をもっていないのですもの。

3. Does he drive?

彼は車を運転するかしら?

4. What do you like?

あなたは何が好きですか?

5. Do you want to play tennis?

あなたはテニスをしたいですか?

Do you want to ... ?

「～したいですか?」は便利な表現です。

6. What do you think?

あなたはどう思いますか?

相手に意見を求めるときに便利な表現です。

How do you think? とは言いません。

友達と一緒にショッピング中のあなた。

ドレスが気に入った様子の友達に...

Do you like it?

気に入った?

Do you want to

buy it?

買いたい?



お知らせ

ソウルより21名のアンバサダーをお迎えする日が近づいてまいりました。皆さんと共に楽しい交流をしたいと思います。交換委員会では下記のような三つの行事を企画し準備を進めております。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

1. ウェルカムパーティー

日時: 6月1日(火) 11:30~13:30

場所: 東天紅(JACK 大宮 18F)

参加費: 1850円(当日集金)

2. 日光バスツアー

日時: 6月3日(木) 7:45 集合 18:00 帰着

JR 大宮駅西口ビッグカメラ前集合

参加費: 5000円~6000円

(バス代、昼食、拝観料込み)

*参加人数により参加費に幅があります

*参加費はウェルカムパーティーのときに

集金させていただきます

(パーティー不参加の方は当日)

3. フェアウェルパーティーと文化交流

於東大宮コミュニティセンター

日時: 6月5日(土)

A: 9:30~13:00 料理交流会

B: 13:00~16:00 フェアウェルパーティー

場所: A. 4F 調理室

調理室は土足厳禁です。スリッ

パをご持参ください

B. 3F 第1・第2 集会室

参加費: 1000円

*A・Bのいずれか一方に参加の方

も同額

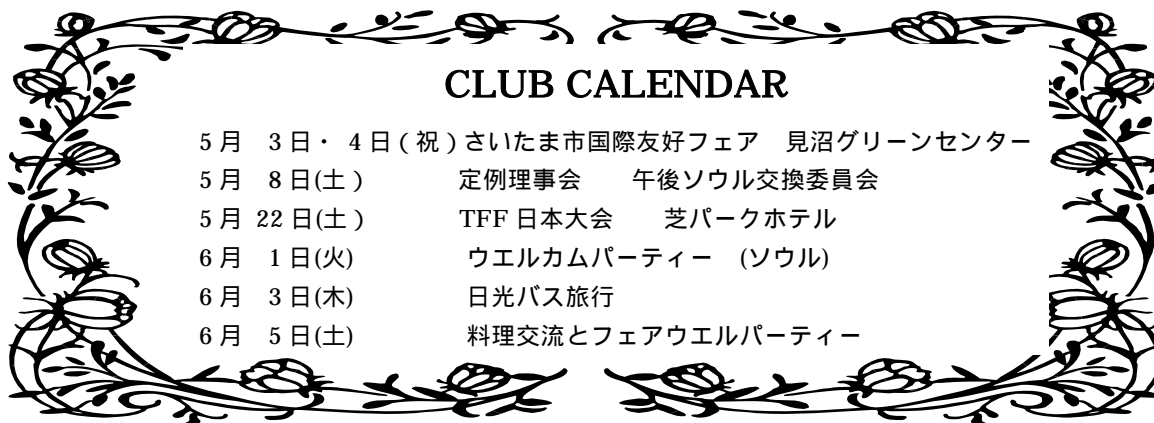
申し込み先

催事担当: 増田信枝 : 04-2958-3436

今井光子 : 04-2928-2649

準備の都合上申し込み締め切りを

5月10日(月)とさせていただきます



CLUB CALENDAR

5月 3日・4日(祝)	さいたま市国際友好フェア	見沼グリーンセンター
5月 8日(土)	定例理事会	午後ソウル交換委員会
5月 22日(土)	TFF 日本大会	芝パークホテル
6月 1日(火)	ウエルカムパーティー	(ソウル)
6月 3日(木)	日光バス旅行	
6月 5日(土)	料理交流とフェアウエルパーティー	

理事会報告

2004年2月14日(土)

報告事項

- オーストラリア渡航について
 - 参加者 20名
 - 2/8 ワークショップを開催した
- ソウル受け入れについて
 - 2/8 交換委員会開催 各委員、責任者は別紙の通り
 - 日程は5/31 羽田着
 - おおよそのプログラムを決めた
- ミンスク渡航について
 - 日程は7/1 出発 7/2 現地着 7/8 現地発 7/9 モスクワ発 日本着は7/10
 - モスクワ2泊のオプションツアーを計画中
 - 航空券はエアフロート ¥150,000 に決定する
- ブラジル受け入れについて
 - 名簿が届いているので4月には交換委員会を発足したい
- 各係より
 - 会計 = 電話料が高い・コピー代が高い・ハンドブックの必要性があるか等の声が聞こえてきているので、きちんと説明できるようにしたい
 - 相見積もりを改めて出してもらおうようにする
 - アジア大会の参加についてはフェスティバルに変わったので個人参加とする
 - 大会参加の登録料については理事会の承認を得た人とする(再確認)
 - 事務局 = 4/18 中央公民館閉鎖・5/1 以降生涯学習センターの利用となる
 - ネットでの施設申し込みについては事務局が一括して行う

審議事項

- 2005年度交換希望
 - 渡航2週間を1回、受け入れを2回とする
 - 第1希望地域 ヨーロッパ(フランス・イギリス)
 - 第2希望地域 北米(カナダ)
 - 受け入れ 4月 10月カウアイ 各21名
 - 渡航時期 6月
- その他
 - さいたま市外国人によるスピーチ大会について
 - ワークショップの配布資料は一部分の物ではなく、全部を理事にもお願いしたい

編集後記

10周年記念植樹の白ヤシオツツジが満開となりました。紙面の都合でお見せできないのが残念です。59号は交換の特集号です。ソウルの受け入れが間近に迫ってきました。滞在中の行事を皆で楽しみましょう。

理事会報告

2004年3月13日(土)

報告事項

- オーストラリア渡航について
 - 3/7 第2回のワークショップで最終確認をした
 - 1人キャンセルのため参加者19名
 - さいたま市長のメッセージを持参
- ソウル受け入れについて
 - 2/29 催事委員会開催、ウエルカムパーティーは東天紅 フェアウエルパーティーは東大宮コミセンでお料理交流の形式で
 - 3/9 21名の名簿が届いたので本日午後にホストマッチング
 - 4/11 午前に交換委員会
 - 5/16 ホストのためのワークショップ
- ミンスク渡航について
 - 2/23 募集を開始した(参加費22万円)現在申込者3名
 - 経過を見ながら他クラブにも呼びかけを考える
- ブラジル受け入れについて
 - 4/11 ソウル交換委員会で30分ぐらい時間をいただきたい
 - 5月には交換委員会を開催予定
- 各係より
 - 会計 = 月次報告は別紙の通り
 - 立替の精算は年度内にしてほしい
 - 事務局 = 2005年度交換希望をFFIに提出
 - ハンブルグクラブが5月に25周年を迎えるのでお祝い状を会長名で送付済み
 - 「さいたま市国際 NGO/NPO ネットワーク」設立準備委員に佐藤事務局長

審議事項

- さいたま市国際友好フェアについて
 - 今年も5/3・5/4に開催
 - 全員に協力してもらうため電話で依頼する
 - 連絡網は事務局が作成
 - 4/11の交換委員会、反省会に持参してもらうことも可能
- 交換準備について
 - 原則として理事も参加、欠席の場合はEDに連絡
- ハンドブックについて
 - FFIが流動的であっても今年中に作成
 - ハンドブックについての時間をとり進める
 - 各係より提案があれば出して欲しい

編集・発行

ザ・フレンドシップ・フォース・オブ・埼玉 事務局
 〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮 4-69-18
 TEL: 048-651-2210 FAX: 048-667-2796
 発行日 2004年4月26日 第59号